

地 域 の 皆 さ ま と 共 に 活 き る

2012

きらやか銀行

情報発信号 The Latest News

3
月期号

頭取インタビュー ▶P03

お客様から、
もっともっと喜ばれる銀行へ

きらやか銀行 DISCLOSURE'12
ディスクロージャー誌
2012年3月期 情報誌編



じ も ゆ
HOLDING



巻頭総力特集 ▶ P01

じもとホールディングスとは

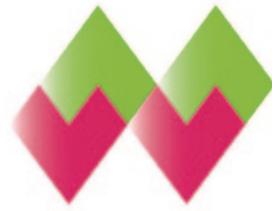
「お客様に喜ばれ、信頼され、「じもと」とともに進化・発展する新たな金融グループの創設」
それが基本理念です。

きらやか銀行 仙台銀行

みやぎとやまがたをつなぐ

当行と仙台銀行は平成24年10月1日に
共同持株会社【じもとホールディングス】を設立し
経営統合いたします。

両行の営業ネットワーク及び
行員の有するノウハウの融合と
相乗効果やスケールメリットの享受による
経営機能の効率化
実現により、県境を超えて進化する
地域経済活動への貢献と
顧客サービスの向上を実現してまいります。



じもと
HOLDINGS

“こころが根づく、じもとホールディングス。”

名称について

『じもと』は、地元を意味し、地域に根ざして展開していく新金融グループの経営姿勢を表したネーミングです。新金融グループとして、地元の経済、お客様をしっかりと支えていくことで、地元の未来を創造していきたいとの思いを込めております。

シンボルマークについて

「東北を象徴する『緑の山』。そして、その地元の山々に『こころ(ハート)』を根づかせている。」そんな思いで作成したマークです。仙台銀行(緑色)ときらやか銀行(赤色)がしっかりと手を取り合っています。マークを連続させることで、山やハートが広がり続けるようなイメージを生み出せます。



経営統合最終合意の共同記者会見(平成24年4月26日 仙台市)



CONTENTS

経営統合による「じもとホールディングス」とは … P1	CSRへの取組み ……………… P7	不良債権の状況 …… P20
【頭取インタビュー】	知って得する「きらやか活用法」のご紹介 …… P9	地域の皆さまと共に … P21
お客様から、もっともっと喜ばれる銀行へ …… P3	投資信託・生命保険のご案内 ……………… P13	概要 ……………… P22
中期経営計画 ……………… P4	ソリューションビジネス ……………… P14	
地域密着型金融推進計画への取組み ……………… P5	東日本大震災復興に向けた取組みについて …… P16	
地域の皆さまへの利便性提供	ATM関連情報 / チャネルネットワークの拡大 …… P17	
中小企業金融円滑化法への対応について …… P6	業績ハイライト ……………… P18	

東日本大震災を契機に
両行の絆は
より強固なものに



仙台銀行 取締役頭取
三井 精一
(じもとホールディングス会長就任予定)

Q. 東日本大震災から一年が経過した今、
両行が経営統合の最終合意を発表されました。
その意義をどのように感じておられますか。

A. 東日本大震災で東北が未曾有の被害を受けるなか、両行は地域金融機関として地域復興への支援を最優先し、経営統合を一年延期しました。しかし、両行は、この間に地域復興への様々な連携を強め、パートナーとしての絆、連帯感はさらに強まつたと確信しています。

宮城と山形は、東日本大震災から立ち直りつつあり、復旧・復興へ一歩一歩前進しています。震災復興がいよいよ本格化してくる今、それに呼応するように新金融グループ設立の最終合意に至りましたが、この時期だからこそ、お客さまは新金融グループに対して、地域経済の復興と発展にしっかりと取り組んでほしいと強い期待を寄せられていると理解しています。

「じもとグループ」は、宮城と山形を基盤とする新金融グループとして総力を挙げて、地域経済の一日も早い復興とさらなる発展に貢献してまいりたいと考えています。

宮城と山形をつなぎ、
復興支援と産業交流を
さらに活発化



きらやか銀行 取締役頭取
栗野 学
(じもとホールディングス社長就任予定)

Q. 「じもとホールディングス」が目指す
経営目標とグループ戦略を教えてください。

A. 私たちは、宮城と山形を基盤とする新金融グループとして、「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに進化する金融グループ」を目指し、「じもと復興戦略」、「じもと経済活性化戦略」、「商品・サービス向上戦略」、「経営資源の効率的配分戦略」に取り組む考えです。

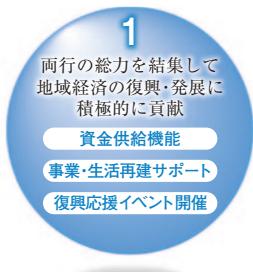
今回の経営統合によって、宮城と山形の両県にまたがる広いマーケットを一つの金融グループで戦略的に営業展開することが可能となります。両行の地元マーケットにおける強みを最大限に活かしつつ、活発な産業交流を主体的に促すことで「じもと」を元気にし、グループとしての取引機会の拡大、取引関係の深化を図ってまいります。

また、東日本大震災で経営統合が一年延期したことにより、新金融グループには新たな使命である「震災復興支援」が加わりました。復興支援についてもグループ力を総合的に発揮することによって、一層の貢献ができるものと考えています。

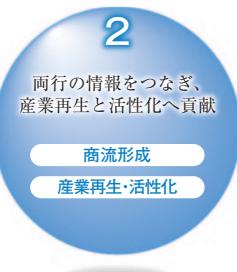
じもと HOLDINGS



じもと 復興戦略



じもと経済 活性化戦略

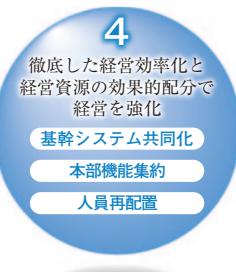


◆じもとグループの
4つの戦略
じもとを元気にする

商品・サービス 向上戦略



経営資源の 効率的配分戦略





お客様から、もっともっと喜ばれる銀行へ

株式会社きらやか銀行
代表取締役 頭取 粟野 学

Q. きらやか銀行が目指すものは何ですか？

A. 「きらやからしさ」

今年度から、新たな中期経営計画がスタートします。その基本となる考え方として、これから3年間で、『きらやからしさ』を追求していきたいと考えています。「きらやからしさ」とは何だろうと考えた時、真っ先に頭に浮かぶのは、今全行をあげて取り組んでいる『本業支援・最適提案』です。これらの延長線上にあるのが、正に「きらやからしさ」なのだと考えています。言葉で表すと、「もっともっと喜ばれる銀行になる」。これが「きらやからしさ」です。

「もっともっと、喜ばれる銀行へ」

もっともっと喜ばれる銀行になる。この「きらやからしさ」を実現するために、中期経営計画において大きな方針を決めていきたいと思っています。中期経営計画のストーリーのスタート地点は、『本業支援・最

適提案』です。取引拡大により、収益力が向上すると経営基盤が強化されます。そうすると株主の皆さまが喜ぶ、地域社会が喜ぶ、行員が喜ぶ。皆さまとそして行員が喜んだりで、更にサービス向上の充実を図り、より進化した「本業支援・最適提案」の地点へと戻っていく…。このようなストーリーを描いていきたいと思っています。

もう一つは本業支援による「コミュニケーションの活性化」です。そして内部管理態勢強化にもつながる、「ルールを守る」ということ。これらが更なる収益力の強化につながります。そして更には、本年10月に控えている「仙台銀行との経営統合」。この統合により、新たな市場開拓につながります。新たな市場の開拓は、お客様の喜び、そして地域経済の活性化に結び付きます。

Q. 経営統合後の戦略をお聞かせください。

A. 「つなぐ」

10月に経営統合する仙台銀行との戦略は、『つなぐ』がキーワードだと思っています。法人のお客さまには本業支援をベースに情報をつなぐ、商流をつなぐ。個人のお客さまには両県に跨るものを見

つないで商品を創る、ネットワークをつなぐ、チャネルをつなぐ。仙台銀行との経営統合後は、他行とは違うサービスを「つなぐ」というキーワードのもと、実施していきたいと思っています。

1 新中期経営計画において目指す姿

きらやか銀行らしさ = “もっともっと喜ばれる銀行”

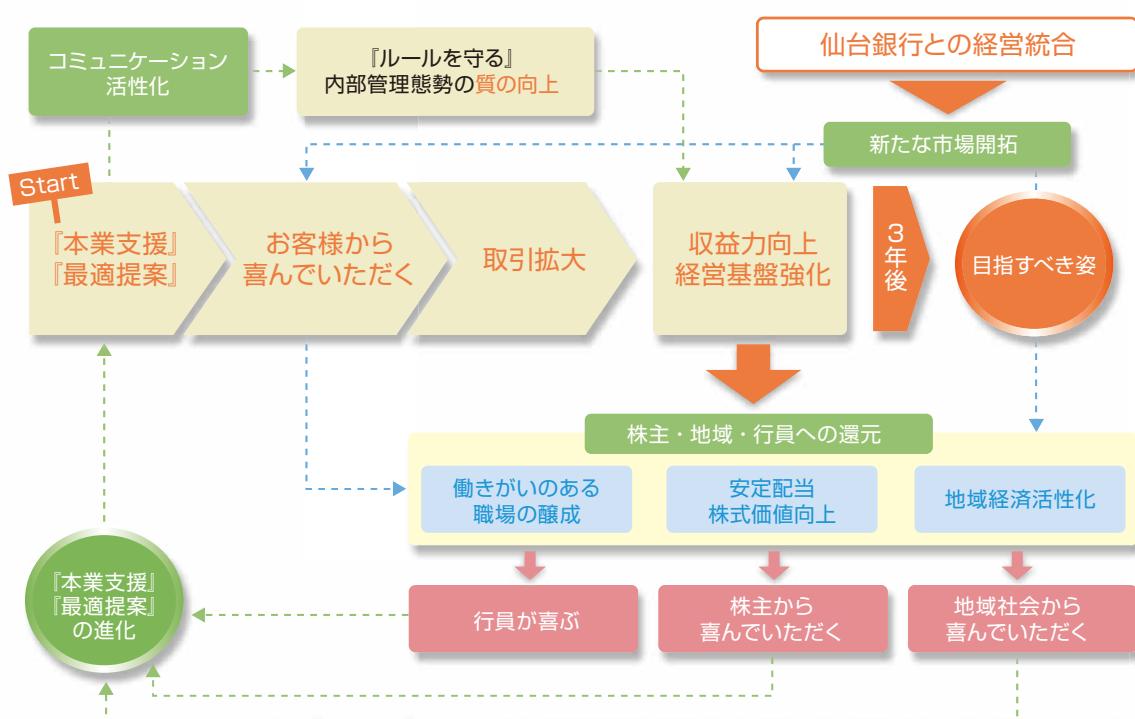
お客さまから喜んでいただくために「お客さまと同じ目線で、お客さまと一緒に考える」ことが
きらやか銀行らしさであり、今後はもっともっと喜んでいただける銀行を目指すことで、
より強くきらやか銀行らしさを出していく。

きらやか銀行は『共に“活ける”』

お客様 地域社会 株主 行員

皆様の満足度が向上し“喜んでいただく”ことは、
銀行の更なる成長・発展にも繋がる。

2 新中期経営計画のストーリー



地域密着型金融推進計画への取組み

Kirayaka Bank

当行は平成19年度より、①ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化、②事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底、③地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献、を3つの柱とした、「地域密着型金融推進計画」に取り組んでおります。

平成23年度は、より一層地域密着型金融を推進すべく、地域のお客さまと「共に生きる」ことを継続し、全行的に取組んでおります。

また東日本大震災からの復興を支援していくことが、地域金融機関として取組むべき優先課題の一つと考え、様々な方法による復興支援に取組んでまいります。

なお、本計画の進捗状況につきましては、ホームページにて公開しております。

【 きらやか銀行ホームページ 】
<http://www.kirayaka.co.jp/>

平成23年度の主な取組み実績

■ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

□ 創業・新事業支援

「きらやか起業家ローン」「山形県商工業振興資金」を活用し、新規創業・新事業先に対して積極的に融資取組みを行いました。

新規創業・新事業先へのご融資 **42件、10.7億円**

□ 経営改善支援

経営相談支援においては、営業統括部中小企業融資推進室企業価値創造グループを中心として、ビジネスマッチング等、お取引先企業の幅広いニーズにお応えしてまいりました。また、融資部・企業支援部・営業店が一体となり、お取引先企業の経営改善支援・再生計画作成支援を行いました。

ビジネスマッチング面談実施	1,285件
経営改善支援取組み先	111件
事業再生支援取組み先	51件

□ 地域密着型金融推進計画

地域のお客様と「共に生きる」



□ 事業承継支援

事業承継コンサルティングにおいては、事業再編、株価算定による簡易診断を行っております。

事業承継支援取組み先

39件

■ 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

□ 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

担保・保証に過度に依存しない手法として、CRDスコアリングモデルを活用したビジネスローンの推進、資金調達手法の多様化を促進するためABLや無担保私募債の推進をいたしました。また「東日本大震災復興緊急保証」を活用した被災中小企業へ支援を積極的に行ないました。

融資実行先

492件、135億円

「地域貢献」

■ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

□ 地域全体の活性化・持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

山形県中小企業家同友会、山形大学等との产学連携を強化し、地域の若者の人材育成、地域企業との交流を行う活動に参加しております。

また、地域活性化につながる多様なサービスの提供を行うべく、地元中学校から大学までを対象とした職場体験学習、インターンシップ等の受入や、外部講師を招いた経営者セミナーの開催等もしております。

今後も、地域の要望に応える取組みを推進してまいります。

山形県内お取引先企業の
仙台進出支援（きらやか横丁開催）
仙台卸町、仙台長町、泉中央

計5回

職場体験学習・インターンシップ等受入

9校32名

地域の皆さまへの利便性提供

Kirayaka Bank

コンサルティングステーション(CS)

名称	所在支店名	電話番号	営業時間
仙台コンサルティングステーション	弓の町支店内 ※仮店舗	022-293-4177	平 9:00~15:00

※仙台コンサルティングステーションは一時的に弓の町支店内に窓口を開設しております。

ローンステーション

名称	所在支店名	電話番号	営業時間
山形ローンステーション	旧江俣支店	023-681-8314	平土日 10:00~18:00
庄内ローンステーション	新斎町支店内	0235-24-4114	平 9:00~17:00

仙台地区 個人特化型店舗

名称	所在地	電話番号	営業時間
仙台支店 泉出張所	仙台市営地下鉄南北線泉中央駅ビル2階	022-371-8075	平 9:00~15:00(個人預金の受付・入受・払出) 平 9:00~16:30(ローン貸付・預り資産・個人ローン相談業務) 土日 9:00~16:30(ローン相談業務のみ) ※土・日はローン相談業務のみとなります。 ※両替・納税・公共料金の窓口受付業務は行いません。



平日窓口延長・土日営業店舗

名称	所在地	電話番号	営業時間
天童東支店	ヨークベニマルららパーク天童店内	023-654-2555	平 10:00~15:00(通常業務) 平 10:00~18:00(ローン貸付・預り資産相談業務) 土日 10:00~18:00(ローン貸付・預り資産相談業務のみ)

(平成24年6月末現在)

「中小企業金融円滑化法」への対応について

当行は、「中小企業金融円滑化法」への対応姿勢を明確にした「金融円滑化管理方針」、当行の各部門の組織体制と各部門及び営業店の役割を明確にした「金融円滑化管理規程」を制定し、全行員が同じ認識のもと、中小企業のお客さま及び住宅ローンご利用のお客さまからのご要望に真摯に対応しております。

中小企業のお客さまに対する諸対応策の実行としまして、営業統括部を中心にお客さまへの「本業支援」体制の充実を図り、中小企業融資のスペシャリストの配置・営業店の融資案件組成支援等本支店一体となったお客さまとのリレーションシップの醸成を図り、お客さまの経営課題を的確に把握した上で、的確なサービスの提供を行っております。

また、融資部、企業支援部においては、支援企業を選定し専担者による経営相談、経営指導、事業再生に係るスキームの検討・提案・コンサルティング等を行っております。さらに当行子会社きらやかターンアラウンドパートナーズ株式会社においては、日本政策投資銀行と業務提携を行い専門的なノウハウの享受により集中的な再生支援を行っております。

住宅ローンご利用のお客さまに対しましては、各地のローンステーション及び各営業店において「お客さま相談窓口」を設置し、ご相談に対応しております。加えて、毎月第二土曜日には、各地のローンステーションにおいて「休日相談会」を開催いたしております。

貸出条件変更等のお申込みに対する平成24年3月末日までの対応状況は以下の通りとなっております。

【中小企業のお客様】

	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数(件)	5,781	5,482	117	61	121
金額(百万円)	139,241	133,589	2,199	2,003	1,449

【住宅資金ご利用のお客様】

	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数(件)	777	586	85	11	95
金額(百万円)	11,008	8,328	1,161	178	1,340

「中小企業金融円滑化法」が平成25年3月末まで延長されました。当行は、今までのお客さまへの対応に加え、中小企業支援に係る第三者機関との連携の強化・新たな金融手段のご提供等により、今後ともお客さまご自身の経営課題に対する改善努力に対して、「経営改善計画」の策定支援、継続的なモニタリング、経営相談等コンサルティング機能を発揮することによりご支援を積極的に行ってまいります。

CSRへの取組み

Kirayaka Bank

地域の復興に向けて

■復興支援市開催

当行は、平成24年4月28日、山形市七日町で仙台銀行との合同企画第1弾「みやぎ復興感謝祭 海の市 in 山形」を開催しました。本イベントは、経営統合を前に震災復興応援に向けた仙台銀行との共同企画であり、東日本大震災からの復興支援及び山形市中心市街地の活性化に貢献することを目的として開催されました。

当日は東日本大震災被災地の水産関連企業5社を招き山形市で出店。両行は復興に向け、連携した支援活動を継続して展開致します。



地域のスポーツ振興活性化



■硬式野球部

当行野球部は、業務との両立を図りながら精力的に活動しております。夏季は都市対抗野球大会や社会人野球日本選手権等に向け連日練習に励み、山形県のスポーツ振興の活性化を図っております。また、冬季は小・中・高・大学生を対象とした野球教室を積極的に行なうなど、地域のスポーツ振興にも寄与しております。



■山形リトルリーグ「きらやか銀行杯」

山形リトルリーグ「きらやか銀行杯」は昨年で28回目を迎えました。山形県における野球の底辺強化を目的として、当行が協賛企業となり毎年10月に開催されます。山形県外のチームも招待し、熱戦が繰り広げられています。

大会では、当行行員や野球部員も運営の手伝いや審判等を行い地域貢献を図っています。



地域社会の発展・活性化へ貢献 ～社会的側面～

当行では、地域社会への貢献として、お客様からお預入いただいた定期預金残高に対し、所定の割合を乗じた金額を当行が拠出し、対象となる団体等へ寄付金やクラブ強化費として贈呈しております。

これからも、当行は地域のお客さまと一緒に山形を応援いたします。

■モンテディオ山形への寄付金の贈呈

当行は、平成23年4月より取扱いました「モンテディオ山形応援定期預金」において、預入残高の0.01%相当額をモンテディオ山形へクラブ強化費として寄贈いたしました。当行はオフィシャルスポンサーとして、今後もモンテディオ山形を応援してまいります。



■盲導犬育成支援金寄付

当行では、平成24年5月に盲導犬育成預金「ワンニヤふる“家族”」の3月、9月末の預入残高の0.02%相当額を財団法人日本盲導犬協会仙台訓練センターに寄贈いたしました。



CSRへの取組み

Kirayaka Bank

経営者セミナーの開催

平成24年6月に、「きらやか経営者セミナー」を開催いたしました。当行では3回目の開催となり、全営業店のお取引先経営者を対象に、著名講師による講演会と懇親パーティーを開催しました。このセミナーは、意欲的な経営者の方々に研修の場を提供すると共に、当行とお客様の更なる関係の強化及び参加者同士の交流を通して、当行が掲げる「お客様と共に生きる」の具現化を図ることを目的としています。セミナーは2日間の日程で行われ、参加者は500人を超えるました。

【セミナー講師陣】

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ◆(株)日本総合研究所
藻谷 浩介氏 | ◆弁護士
住田 裕子氏 |
| ◆(株)ハードオフコーポレーション
山本 善政氏 | ◆(株)タニタ総合研究所
谷田 大輔氏 |



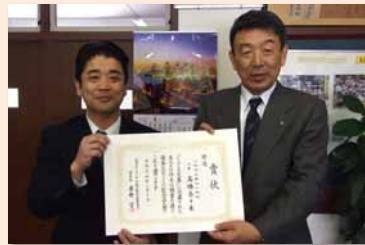
地域の皆さまとの交流

■地域行事への参加～山形花笠まつり～
平成23年8月、山形花笠まつりが開催され、当行から200名以上の行員が参加いたしました。仙台銀行との共同参加や女性使用花笠のLEDライト搭載、また野球部のユニフォーム姿での参加など話題満載で山形の夏を彩りました。

山形花笠まつりは今年で50周年を迎えます。
当行は今年も全行をあげて花笠まつりに参加し、地域の活性化を図ります。



地域社会の教育支援への取組み



「暮らしの文集」贈呈

(財)きらやか銀行教育福祉振興基金

平成24年3月30日、財団法人きらやか銀行教育福祉振興会・財団法人きらやか銀行育英会・財団法人きらやか銀行教育振興基金は合併し、財団法人

きらやか銀行教育福祉振興基金として新たにスタートしました。きらやか銀行はこれからも、地域の教育文化向上のために更に力を注いでまいります。



平成23年度理事会・評議委員会

山形美術館の入館料負担

地域の文化や芸術の振興に役立つことを願い、小・中学校の児童生徒を対象に、原則毎月2回、山形美術館への入館料を当行で負担しております。

情報開示の充実

IR(会社説明会)の開催

当行では、株主・投資家の皆さまやお取引先のお客さま、そして地域の皆さまといった方々に当行の経営状況や経営方針をご理解いただくためにIR(インベスター・リレーションズ)活動に積極的に取り組んでおります。



知って
トクまる

「きらやか活用法」を ご紹介します。

当行のサービス内容の一部を、当行行員がご紹介いたします。

その1
本業支援

本業支援＝感謝・信頼・喜びの3本柱

本業支援を通じお客様とのフェイス・ツー・フェイスの関係を改めて見直し、懐に飛びこみ何を望んでいるのかを確認し真の意味で信頼感を得ることを大事にしています。そして、信頼感を得ていく前提として自分自身が、その会社を好きになる・その代表者を好きになる・その従業員を好きになることが出来る様に心掛け、日々の渉外活動に取り組んでおります。

本業支援の3本柱が成立していく
ようにお客さまの真の悩みについて
真剣に考え、愚直に行動し感謝、信
頼される銀行員を目指していきます。



プロフィール

天童支店
備前 司

法人渉外課長
きらやか銀行誕生以来 優績行員連
続受賞(内優勝・準優勝5回)

- 仕事に対して
段取り8割・行動2割で決めたこと
は徹底する
- ストレス発散方法
春から秋にかけては、自宅の畑作業
(野菜の成長を眺める)
- 子供達のスポ少(バスケット)で
熱血指導すること。

お客様コメント



本業支援
内容

長きにわたり仙台市圏内に収益不動産購入を考えており、物
件購入時、担当者に相談。担当者は当該物件の立地条件及び
収支等の調査を行い、物件購入の妥当性を一緒に検証し資金
調達を含めた購入計画を提案。

佐野社長様 コメント[△]

「共に成長する最高のパートナー」

今まで幾度となく収益不動産購入を試み、支店長始め歴代の担当者より支援して
いただきましたが、担当者が変わっても今までと変わらぬご支援をいただけることは一番信
頼できるものであり、人と人とのつながりのある金融機関だと感じております。「本業支
援」を掲げ、われわれと一緒にやって考える金融機関は今後も地域にとってとても重要で
あり、共に成長していきたく思っております。今回相談した内容については今後の人生の
中で一生忘れられないことであり、最高のパートナーに出会えたと感謝しています。

株式会社 さのや 様
(酒類卸・小売業及び不動産賃貸業)



**お客様の「想い」を実現してみませんか?
是非、ご相談ください。**

今のお客さまの「想い」は何ですか?きらやか銀行では、「共に生きる」を柱に「本業支援・最適提案」を全行あげて取組んでいます。その中で成長基盤分野に向けた取り組み「きらやか成長応援ファンド」についてご紹介します。医療・介護・健康関連事業に対する取組み「ライフ・イノベーション」、高齢者・保育・育児事業に対する取組み「元気創造」、観光事業に対する取組み「観光応援」、地域経済の発展に資する取組み「地域活力」の各ファンドを設定し、お客様の様々なニーズにマッチした商品提供を行っています。是非、ご相談ください。**私の銀行員としての一番の幸せは、お客様と喜びを共有し達成感を得られる事にあります。**これからも、お客様からの信頼・信用を基に「何でも相談出来る」銀行員を目指していきます。



想いを形にするお手伝いを
させてください。



プロフィール

仙台卸町支店
高橋 昌宏

仙台地区3ヶ店目の店舗で融資担当
課長として「お客様の真の悩み・課
題」を共有し、解決するべく頑張って
います。

趣味は、マラソン・ウインタースポーツで、仙台ハーフに出場する等、体力・メンタル力の強化を目的に楽しんでいます。



 オススメのサービス

『きらやか成長応援ファンド』

成長基盤分野の支援による地域社会の発展をきらやか銀行が応援します!

1.名称及び ファンド額額 取扱期間	「さやか成長応援ファンド」(総額200億円以下の4ファンド)にて構成 ※各ファンドの総額(リターン率)・運用料(年間100億円)
2.対象となる方 の属性	・中小企業者の方 ・さやかファンド投資家の方 ※法人・個人事業主
3.資金使途	①(主)成長戻りの実現化する資金を必要とする新規企画・設備資金 ②(次)新規事業開拓・新規拠点開拓等のための資金 ③アーバンオフィスにおける事業・事業開拓 ④大学・研究機関における学術研究・学術セミナー ⑤譲り受け事業・新規導入事業 ⑥新規事業開拓・新規拠点開拓等のための資金 ⑦新規事業開拓・新規拠点開拓等のための資金 ⑧地盤再生・再開発事業 ⑨森林林業・農業、畜産連携事業 ⑩住生活・エコ化事業・防災対策事業 ⑪新規事業開拓・新規拠点開拓等のための資金 ⑫既存事業の強化・新規事業開拓 ⑬既存事業の強化・新規事業開拓 ※但し、新規事業開拓・新規拠点開拓等のための資金 ※但し、既存事業の強化・新規事業開拓等のための資金
4.ご融資金額	1,000万円以上
5.ご融資期間	1年以内
6.ご融資条件	当行の融資条件(要件規定による融資条件)

7.ご融資形式	証書貸付
8.ご返済方法	原則として元金均等返済

に達した場合は取扱期間中であっても取扱いを終了させていた

に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

▼詳しくは、お近くのきらやか窓口にパンフレットがございます。

その3
ポイントサービス

ポイントサービスでもっとお得に、もっと便利に! あなたの暮らしを応援します。

お客さまが銀行に対し気にされていることの多くは、ATM時間外手数料がかからってしまうことではないでしょうか? 今回は当行ATM時間外手数料が無料になる方法として、きらやか銀行ポイントサービスをご紹介いたします。

例えば、給与振込(40P)+UCクレジットカード(20P)*+ネットバンキング(15P)=75Pでステージ2となり、平日のみ無料となります。さらに、当行株主+配当金振込口座も当行指定の方は(30P)=105Pで、最高のステージ3となり、全ての日が無料となります。

上記契約の一体型UCクレジットカード*は携帯料金等をカード支払いにすると年会費がかかりません。またネットバンキングも年会費がかかりませんので、費用をかけずにポイントアップすることができます。

ぜひ、上手にポイントを貯めて、有効活用していただければと思います。

補足になりますが、住宅関連ローンは75Pとステージ3の一番お得なポイントであり大変お得です。ちょうどこの低金利時代に住宅ローン借換えを検討されてはいかがですか?

*当行所定のクレジットカード



プロフィール

上山支店
森谷 成佳

入社13年目の法人兼個人涉外代理。情報発信地として、「一旦は森谷に聞いてみよう!」と思われる存在を目指し頑張っています。

趣味は多趣味(サックス、テニス、スキー、マラソン、ソフトボール)特にスキーは妻・娘と一緒に楽しめます。



◆オススメのサービス

サービス一覧

ステージが進むほど、お得でうれしいサービスいろいろ!

お預け入れ	お借り入れ*	手数料		
ステージ1 50ポイント以上	定期預金 ATM定期預金 金利上乗せ (スーパー定期、 スーパー定期200円)	店頭表示金利より 0.3%引き下げ	—	—
ステージ2 75ポイント以上	定期預金 ATM定期預金 金利上乗せ (スーパー定期、 スーパー定期200円)	店頭表示金利より 0.4%引き下げ	平日のみ 無料	50% 割引
ステージ3 100ポイント以上	定期預金 ATM定期預金 金利上乗せ (スーパー定期、 スーパー定期200円)	店頭表示金利より 0.5%引き下げ	全ての日 無料	50% 割引

*1 ローン金利の引き下げは新規実行時のみの運用となります。キャンペーン金利との併用は出来ません。

■申込み方法は?

当行とお取引いただいているお客さまは、自動加入となりますので、お申込みの必要はございません。

■ポイントの確認方法は?

ATMでキャッシュカードによる「残高照会」等を行った際の「ご利用明細票」にポイントが表示されております。



← 店頭にパンフレットをご用意しています。

その4
定期預金

5周年を迎えたきらやか銀行。 お好みの定期預金と一緒に選びませんか？

きらやか銀行では、山形応援シリーズとしてお客様の様々なニーズ、ご意向にお応えするため、多種多様な定期預金ラインナップを取り揃えております。今回大好評につき『女性専用定期預金 甘いひととき』第4弾を発売しました。お預け入れいただいた方にはもれなく今年の12月に、北海道の人気スイーツをクリスマスプレゼント致します。

商品を選ばれる際に迷われることもあるかと思いますが、私達はどのような商品を望んでいらっしゃるのかを常に意識したセールスを心掛けています。何でもご相談ください。

お客様の『ありがとう』の言葉を励みに、お客様から信頼され、『何でも相談できる』と言って頂ける行員でありたいと思っています。



プロフィール

酒田支店

足達 ひとみ

各店でテラー（店頭窓口業務）を経験、今年4月から個人渉外代理として、第一線で頑張っています。

お客様とコミュニケーションを取ることを第一に考え、最適提案を意識したセールスを心掛けています。



◆オススメの商品



▲女性専用定期預金 甘いひとときIV



▲モンティオ山形応援定期預金2012



▲ヤッショ、マカショ定期預金

投資信託・生命保険のご案内

Kirayaka Bank

投資信託

投資信託を取り巻く環境は欧州の信用不安、為替の不透明感などにより、お客さまの志向もリスクオンからリスクオフに大きく変容致しました。このような環境変化に迅速に対応するため、新ファンドの積極的な採用などに努めましたが、投資環境悪化の影響は大きく評価残高は前年同月比16.3%（83億円）減少の426億円となりました。

■ファンドラインナップの充実

平成24年2月に、為替ヘッジによる変動リスクの低減と新興国の成長性に着目した新ファンドを導入致しました。またお客さまの資産運用の目的をお聞きし、最適な商品をお求めいただけるよう、投資信託セレクションなど募集ツールをリニューアル致しました。

今後もマーケットの環境変化とともに、お客さまのニーズが多様化することが予測されます。常にお客さまに最適な商品をご提案できますよう、商品ラインナップの充実に努めてまいります。

【主な取扱商品】

取扱区分	ファンド名	運用会社
海外債券	オセアニア	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)
	北米	みずほU.S.イールドオープン(為替ヘッジありなしコース)
	中南米	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
	エマージング	野村新興国債券投信Aコース(為替ヘッジあり)
	アジア・オセアニア	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン
海外株式	アジア	フランクリン・インド株式オープン
国内株式	日本	MHAM日本好配当株オーブン
資産複合	グローバル	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式、毎月分配型)

生命保険

リスクオフ志向の広がりに伴い、安定運用を目的とした一時払終身などの保険商品に販売ウエイトはシフトしつつあります。当行においても、その様相を反映し、販売額は前年同月比11.8%（121億円）増の1,141億円となりました。

■最適な商品の提案

当行では、お客さまの「遺（のこ）す」「備える」「使う」など幅広いニーズにお応えするため、終身保険、個人年金保険、医療保険、がん保険などの商品を取り揃えております。

また、お客さまのニーズに最適な商品を提案出来るよう商品ラインナップ・販売体制の拡充に努めております。

【主な取扱商品】

種類	払込タイプ	商品名	引受保険会社
終身保険	一時払タイプ	円建終身移行特約付通貨選択利率更型終身保険「しあわせ、ずっと」	三井住友海上プライマリー生命
		5年ごと利差配当付選増終身保険「ふるはーどW」	住友生命
	平準払タイプ	無配当終身保険(低解約返戻金型)「未来の自分が決める保険WAYS」	アメリカンファミリー生命
個人年金保険	一時払タイプ	積立利率変動型 終身保険(低解約返戻金型)	三井住友海上あいおい生命
		通貨選択型個人年金保険「アテナII」	三井住友海上プライマリー生命
医療保険	一時払タイプ	5年ごと利差配当付利率変動型一時払個人年金保険「堅実なんきん」	明治安田生命
	平準払タイプ	低解約返戻金型一時払終身入院保険「スマートビジョン」	アイエヌジー生命保険
	平準払タイプ	新医療保険α(低解約返戻金特則付)	三井住友海上あいおい生命
がん保険	平準払タイプ	もっと頼れる医療保険「新EVER」	アメリカンファミリー生命
		生きるためのがん保険「Days」	アメリカンファミリー生命



【投資信託に関する留意点】

●投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また当行で取扱う投資信託は投資者保護基金の支払いの対象ではありません。●投資信託はクーリングオフ対象外です。●投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客さまに帰属します。●投資信託の設定・運用は、各運用会社（投資信託委託会社）が行います。（銀行は販売の窓口となります。）●個別ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をあらかじめお渡しいたしますので、必ずご覧いただき投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願ひいたします。

■個人年金保険販売累計実績



【保険商品について】

●当行がご提案する保険商品は、預金とは異なります。したがって預金保険機構の保護の対象ではありません。●お支払いいただく保険料は、当行への預入れではないため、預金利息はつきません。●ご契約を途中で解約された場合、保険料相当額の解約返戻金のお支払いは保証されておりません。

ソリューションビジネス

Kirayaka Bank

当行は中小企業診断士をはじめ、独自に訓練されたスペシャリストを多数育成し、金融から経営戦略・企業価値向上まで多方面に亘る総合的コンサルティングにより、皆さまのお手伝いに邁進してまいります。

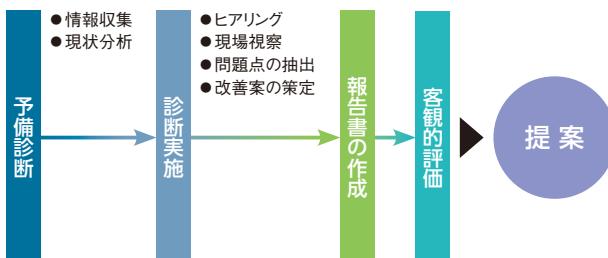
1. 経営戦略支援

■簡易企業診断

当行の中小企業診断士および業種スペシャリストによる経営診断を機動的に行います。

企業の実態分析から課題の抽出、解決策の具現化や、課題解決に向けた事業計画など、事業継続のための戦略策定もサポートいたします。

【診断プロセス】



2. 企業価値創造

■実践型コンサルティング

仕事の現場に存在するあらゆる「ムダ」を洗い出し、改善のための取り組みをお手伝いいたします。業種スペシャリストによる徹底した指導により、企業にとって最も重要な人材の育成と、効率化による業績の向上を目指します。

■ISO関連コンサルティング

ISOなど各種の認証制度は、企業の経営を客観的に評価する手段として、あらゆる業種に普及しております。しかしながら、認証の維持が負担となっているケースは決して珍しくありません。経営ツール（道具）であるはずの、ISO本来の機能を見直し、有益な成果を目指して活用していくことが、経営改善のために必須だと考えます。当行は、これまで追求してきたISOコンサルティングの次のステージとして、ISOを活用した企業パフォーマンスの改善に目を向けております。より具体的な経営目標管理や人材育成、人事制度の充実への活用等をご提案いたします。

■ 株式公開(IPO) 支援 ■ 中小企業格付取得支援

■確定拠出年金(日本版401K)構築導入支援

企業や個人が決められた掛け金を拠出して加入者自らの判断で運用し、その結果により年金受取額が変動する「年金制度」の導入をサポートいたしております。

事務手続き	代表事業所が全体の事務をとりまとめるので、事務負担も大幅に削減
掛け金負担	自社に合った拠出方法により企業が拠出 □給与比例制 □ポイント制 □定額制

3. 組織再編・再生支援

■事業承継

後継者不在における事業承継問題、後継者に対する育成支援プログラム等、事業承継を円滑に進めるための計画立案、実行をサポートいたしております。

■戦略的M&A

外部機関との幅広い連携により、経営戦略にマッチした組織再編スキーム（合併・事業譲渡・会社分割等）について、適切なアドバイスを行っております。

【過去の相談例】

- 事業を継続するため、適切な後継者が欲しい。
- 創業者利益を確保して（事業を売却して）引退したい。
- 会社の株価を評価してほしい。
- 不採算事業を売却したい。
- 株主構成を改善したい。
- 資本力をつけ、企業体质を強化したい。
- 人材やノウハウを獲得したい。
- 事業を売却して、会社を精算したい。
- 他社の協力を得て、事業の再生を図りたい。
- 他社と提携し、販路の確保・売上を増強したい。
- 新規事業に展開したい。

【主なアドバイザリーサービスの内容】

- 相手方の選定、情報の入手およびその分析への協力
- 貴社プロジェクトチームへの参加
- お客さまの意向の相手方またはその株主に対する伝達
- 企業評価・株価算定
- 経営計画策定
- 交渉の進め方についてのアドバイス
- 取引の価額設定についてのアドバイス
- 取引条件設定についてのアドバイス
- 買収・売却スキームの策定
- ファイナンス方法についてのアドバイス
- 弁護士や公認会計士など専門家の選任にかかる助言
- アフター M&Aコンサルティング

4. ビジネスマッチング

販路拡大やコスト削減のための、新たな販売先や仕入先の情報を提供し、お客様の「本業支援」の態勢を構築しております。また、山形県の秀逸な产品を全国に発信することを目的に、大型の展示商談会に共催し、お客様の出展をフルサポートしております。

■地方発「食の魅力」発見プロジェクト2011の共催、 出展支援

魅力あふれる地域の食材を全国のバイヤーに紹介し、販路拡大を支援するために、第二地方銀行23行が協力し『地方発「食の魅力」発見プロジェクト2011』商談会を首都圏で開催いたしました。

500名以上の食品バイヤーが来場し、当行のお客さまも山形の食材を全国にアピールすることができました。

■きらやか横丁の開催

山形県のお取引先企業の仙台地区への販路拡大支援の一環と仙山交流の活性化を目的として、「きらやか横丁」を開催しております。

例年開催している仙台卸町「ふれあい市」や泉中央駅ビルの他、平成23年10月には仙台長町で地元商店街と共同イベントとして開催いたしました。平成24年2月には好評につき再び開催し、お客様の本業支援を行いました。



■カタログ販売企画

「食の魅力で応援!! 日本列島」への参画

東北地方及び南九州・沖縄地方の第二地方銀行9行の共同企画として、各地方の「食」の魅力を満載した名産品カタログを制作しました。

東日本大震災をはじめ、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の被害により地域経済が大きな痛手を受けた東北地方と南九州・沖縄地方の第二地方銀行が力を合わせ、それぞれの地域の「食」の名産品を広く全国へご紹介してご購入をお願いし、被災地の復興や各地域の経済活性化に貢献しようとするものです。当行からは、10社のお客さまより本企画に賛同いただきました。

5. 資金調達

■シングルローン

大口資金調達の切り札として、当行が窓口となり他金融機関とのアレンジメントからエージェントまでトータルでお手伝いいたします。

■私募債

企業の信用力を市場に強力にアピールし、資本市場から直接低利かつ安定的な資金調達が図れる私募債の発行のお手伝いをいたします。

■ABL(アセット・ベースト・レンディング)

不動産担保に依存せず、在庫商品や売掛債権などに着目した資金調達方法を提案いたします。

■ベンチャー投資

ベンチャー企業のベストパートナーを目指して、公的および民間ベンチャー投資会社の紹介や資金調達アドバイス等の幅広い支援を行っております。

東日本大震災復興に向けた取組みについて

Kirayaka Bank

当行では、東日本大震災により直接被害、間接被害を受けられた企業の皆さまの復興支援に積極的に取組んでおります。

1. 震災復興支援に係る融資取組み状況

平成24年3月末までの震災復興に係る融資の取組み実績は以下の通りとなっております。

①直接被害を受けた企業に対する貸出金

113件 29億円

②間接被害を受けた企業に対する貸出金

1,038件 252億円

合 計 1,151件 282億円

2. 震災復興関連の課題抽出件数及び成約件数

当行では全営業店において「本業支援（お客さまの話をお聴きし、企業の問題点・課題等の解決に向けて当行全体で取組む）」をキーワードに、ビジネスマッチングや財務面の改善指導等積極的にスピーディーな対応を行っております。

ヒアリングによるお客さまの課題の抽出件数は631件、そのうち、その課題解決のために対処したビジネスマッチング等の件数は159件となりました。

3. 専門部隊による被災地企業ニーズへの対応

仙台地区においては、取引先の被災状況や事業継続にあたっての事業計画作成支援の復興支援業務に

ついて、平成23年10月より10名の専門部隊「営業統括部、中小企業融資推進室新規開拓グループ」を配備し、被災地の現状を踏まえ、高齢者対応施設関連、建設工事関連、物流・倉庫業関連に業種を絞り、積極的な融資取組みを図っております。

また、きらやかお客さまサービスステーション（当行テレフォンセンター）による仙台地区への電話ヒアリングも継続実施しており、被災地企業のニーズに積極的に対応しております。

4. 仙台銀行と連携した復興支援

当行は、仙台銀行と平成23年6月に「連携に係る契約」を締結し、情報共有及び支援ニーズのマッチング等を図っております。現状、当行、仙台銀行のお客さまからの要望、支援ニーズの情報87件を共有しております。今後も両行において、取引先の情報のマッチング等を積極的に行い、復興支援の一翼を担ってまいりたいと考えております。

5. じもとホールディングスとしての復興戦略

当行は本年10月に仙台銀行と共同で持株会社を設立し経営統合する予定であります。新金融グループとして、両行の力を結集し、両県の人・産業・情報を"つなぐ"ことで、地域経済の活性化を図っていくとともに、大震災からの復興支援に全力で取り組んでまいります。

じもと復興戦略

被災地の金融グループとして
両行の力を結集し、大震災からの復興支援に
全力で取り組みます。

◆資金供給機能の強化◆

- ・震災復興融資枠の検討
- ・両行協調による大口資金への対応

◆事業再建サポートの強化◆

- ・被災地で抱えている様々な問題を隣県である山形からサポート
(人手不足への対応、販売先・仕入先の紹介等)
- ・両行のノウハウ融合及び連携による事業再生支援の強化

被災地の現状・課題

- 二重ローン問題
- 農業・漁業の甚大な被害
- 医療・介護・福祉施設の不足
- 観光客の減少、販売先の被災
- 材料調達難など

◆復興応援イベントの開催◆

- ・宮城の特産品等を山形に紹介
- ・山形での復興市の開催等

◆外部機関との連携強化◆

- ・宮城産業復興機構・東日本大震災事業者再生支援機構との連携

◆生活再建サポートの強化◆

- ・生活再建応援住宅ローンの販売
- ・既往ローンのおまとめ提案
- ・住宅ローンアドバイザーによる相談業務強化

ATM関連情報／チャネルネットワークの拡大

Kirayaka Bank

コンビニATM

セブン銀行とのATM利用提携により、全国のセブン-イレブンに設置されているATMで、当行カードでの入出金・残高照会が可能です。

平日、土・日・祝日とも7:00～23:00のご利用が可能です。

ATM提携

■ゆうちょ銀行提携

ゆうちょ銀行とのCD・ATM提携により、全国のゆうちょ銀行コーナーでキャッシュカードによる相互入出金・残高照会が可能です。

■ふるさと山形ネットサービス(FYネット)

山形銀行とのCD・ATM提携により、キャッシュカードによる入金及び平日時間内による出金が手数料無料でご利用いただけます。残高照会・お振込みも可能です。



■東北おむすび隊

仙台銀行・大東銀行・福島銀行とのCD・ATM提携により、キャッシュカードによるお引出しが平日時間内手数料無料でご利用いただけます。お振込みも可能です。



■山形を便利につなぐ!山形県内4信用金庫との

ATM業務提携サービス開始

当行は、平成24年3月より、山形県内4信用金庫とATM手数料を相互に無料とする業務提携を締結しました。サービス名称の「ジョサネット」とは、山形弁の『じょさね』(簡単)とネットワーク(つながり)を組み合わせたもので、地域の皆さまの利便性向上を図ります。



インターネット支店

インターネット支店「ネットきらやかさくらんば支店」は、店舗や窓口を持たず、通帳・証書を発行しないインターネット上に存在する支店です。ご利用いただけるお客さまは日本国内に住所を有する20歳以上の個人の方で、これまでにお取引のない方に含め、どなたでもご自宅のパソコンから定期預金のお預け入れをしていただくことができます。



- ネットきらやかさくらんば支店だけのおトクな専用商品をご用意。
- 山形県の魅力やおすすめ情報なども発信。
- セブン銀行、ゆうちょ銀行のATM出金手数料は1回につき、105円をキャッシュバック。

【ネットきらやかさくらんば支店】

<http://www.kirayaka.co.jp/netkirayaka/index.htm>

インターネット支店へのお問合せは、
フリーダイヤル 0120-87-0508
(受付時間：平日 9:00～17:00)までお気軽にどうぞ。



インターネットバンキング

■個人のお客さま用〈きらやか〉マイネットバンキング

携帯電話やパソコンから、いつでも、どこでも24時間、お取引口座の残高照会、振込・振替等をご利用いただけます。

■個人事業主・法人のお客さま用

〈きらやか〉オフィスネットバンキング

インターネットに接続したパソコンを使用して、お取引口座の残高照会、振込・振替等をご利用いただけます。伝送サービス(総合振込・給与振込・賞与振込・口座振替)もご使用いただけます。

インターネットバンキングのお問合せは、
フリーダイヤル 0120-303-493

(受付時間：平日 9:00～17:00)までお気軽にどうぞ。

テレホンバンキング

きらやかテレホンバンキングでは、さまざまな銀行取引をオペレーターが直接承り、お客さまのお電話口が銀行窓口になります。ご自宅やお出かけ先から、どうぞお気軽にご利用ください。

フリーダイヤル 0120-32-4415

(受付時間：平日 9:00～17:00)

業績ハイライト

Kirayaka Bank

主要な経営指標

■連結

	平成23年3月期	平成24年3月期
連結経常収益	26,428	25,881
連結経常利益	2,112	1,770
連結当期純利益	1,314	1,579
連結純資産額	50,750	52,375
連結総資産額	1,211,466	1,270,494
1株当たり純資産額	234.66円	246.93円
1株当たり当期純利益	7.46円	9.68円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.25円	4.14円
連結自己資本比率(国内基準)	9.35%	9.13%

■単体

	平成23年3月期	平成24年3月期
経常収益	25,643	25,278
経常利益	1,964	1,636
当期純利益	1,170	1,536

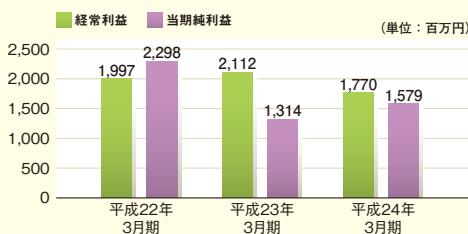
- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり純利益」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期利益に純損する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
3. 連結自己資本比率(国内基準)は銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

営業の概況

■収益の状況(連結)

連結経常収益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少等により、前年同期比5億47百万円減少の258億81百万となりました。一方、連結経常費用は、預金金利の低下による預金利息の減少等により、前年同期比2億5百万円減少の241億10百万円となりました。その結果、連結経常利益は、前年同期比3億42百万円減少の17億70百万円となりました。また、連結当期純利益は、前年同期比2億65百万円増加の15億79百万円となりました。

経常利益・当期純利益の状況(連結)



自己資本比率の状況(連結)



用語解説

- コア業務純益 | 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収益の事を指します。
- 経常利益 | 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
- 当期純利益 | 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。
- 自己資本比率 | 総資本に占める自己資本の割合を指し、銀行経営の健全性や信頼度を示す指標のひとつです。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。※連結自己資本比率(国内基準)は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

業績ハイライト（単体）

Kirayaka Bank

経常利益・当期純利益の状況（単体）



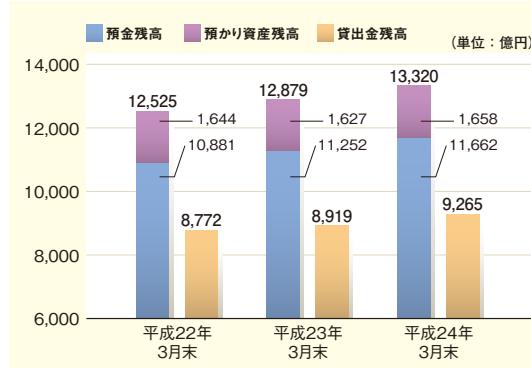
経常収益は252億78百万円、経常費用は236億42百万円となり、その結果、経常利益は16億36百万円となりました。当期純利益は、前年比3億66百万円増加の15億36百万円となりました。

コア業務純益の状況（単体）



銀行の本業部分の収益を表すコア業務純益につきましては、前年比9億61百万円増の54億63百万円となりました。

預金+預かり資産・貸出金の状況^{※1}（単体）



「本業支援」「最適提案」を実施し、個人定期預金、中小企業向け貸出を中心に預金残高、貸出金残高とも増加致しました。

預金残高につきましては、「山形応援シリーズ」やインターネット支店専用定期預金等を中心とした企画定期預金の充実で前年比410億円増加の1兆1,662億円となりました。

貸出金残高につきましては「中小企業向け貸出」等が増加した事から、前年比346億円増加の9,265億円となりました。

※1. 謙渡性預金は含んでおりません。

自己資本比率の状況（単体）



平成24年3月末における単体自己資本比率は、当期純利益を計上し、自己資本の積み上げを図りましたが、中小企業を中心とした融資残高増加に伴い、リスクアセットが増加したこと等から、前年比0.21%低下の9.10%となりました。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。※預金には謙渡性預金を含みません。※単位自己資本比率（国内基準）は、銀行法14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。※決算の詳細につきましては、きらやか銀行ホームページ（<http://www.kirayaka.co.jp/>）よりご覧いただけます。

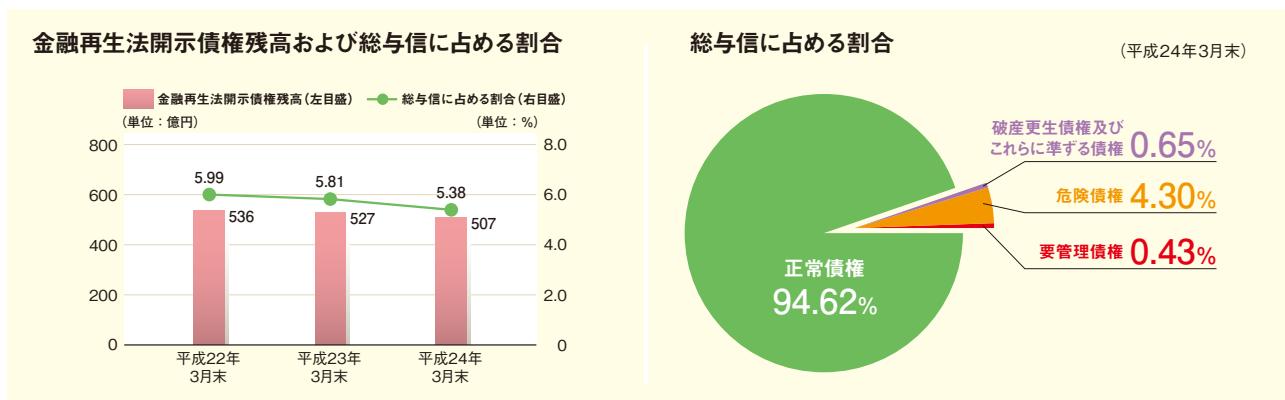
不良債権の状況（単体）

Kirayaka Bank

金融再生法開示債権

平成24年3月末の金融再生法に基づく開示債権は、前年同期比20億8百万円減少の507億34百万円、同不良債権比率は0.43ポイント低下の5.38%となりました。

今後も引き続き、お取引企業に対する財務内容改善等ノウハウの提供に係る経営支援、経営指導をこれまで以上に強化し、資産の健全化に努めてまいります。



保全状況

	債権額(A)	保全額(B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率(B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	61	61	36	24	100.00%
危険債権	405	307	203	104	76.02%
要管理債権	40	9	4	4	22.39%
合計	507	378	245	133	74.60%

用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権 | 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権 | 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。ただし、構成比については端数を調整して表示しているものを含んでおります。

地域の皆さまと共に

Kirayaka Bank

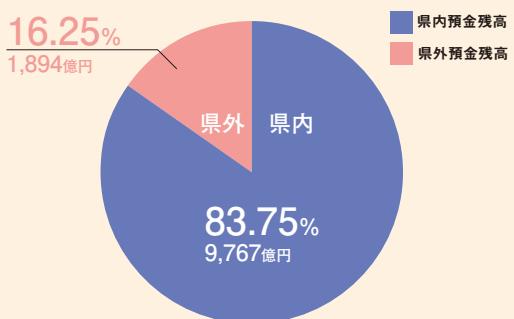
お客さまとのお取引構成

■預金の状況

□山形県内からの預金の状況

当行では地域のお客さまの多様化するニーズにお応えするため、種々の「山形応援シリーズ」商品を発売するなど、お客さまにとって魅力ある商品の提供に努めております。

総預金残高1兆1,662億円のうち、山形県内のお客さまからお預りしているご預金の残高は9,767億円で、その割合は83.75%と高い比率となっております。

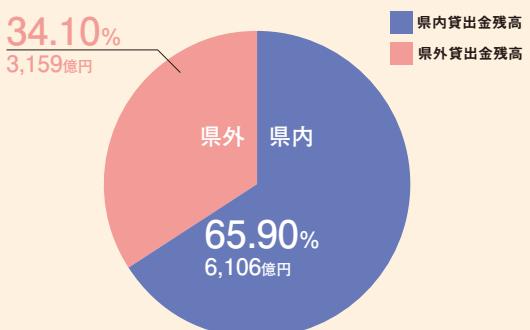


■貸出金の状況

□山形県内向け貸出金の状況

地域のお客さまからお預りした大切なご預金は、地域の発展のために運用させていただいております。

主に山形県内の企業や個人のお客さまの資金需要に積極的にお応えしてまいりました結果、総融資残高9,265億円のうち、山形県内向けの融資残高は、6,106億円で、その割合は65.90%となっております。

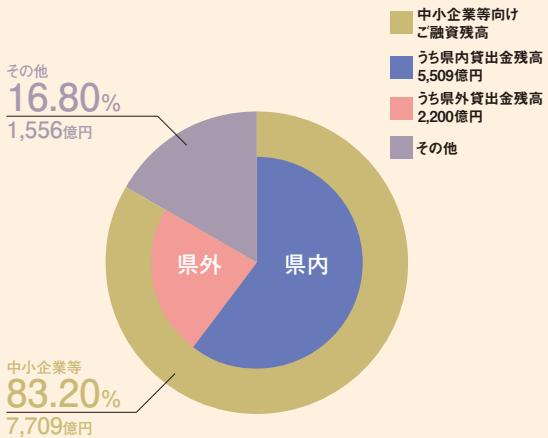


□中小企業等向け貸出金の状況

地域経済を支える中小企業の皆さまの資金ニーズにお応えするため、円滑な資金の供給に向け積極的かつ迅速に対応しております。

中小企業等向け融資残高は7,709億円で、総融資残高に占める割合は83.20%と高い比率となっております。

また、山形県内の中小企業等向け融資残高は5,509億円で、山形県内向け融資残高の90.22%となっております。



※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

※比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

※預金には譲渡性預金を含みません。

(平成24年3月末現在)

概要

Kirayaka Bank

役員 (平成24年6月30日現在)



代表取締役 領取
栗野 学



代表取締役 常務取締役
東海林 賢市 代表取締役 常務取締役
須藤 庄一郎



常務取締役
佐川 章 常務取締役
田中 達彦



取締役
小林 丈夫 取締役
坂本 行由 取締役
高橋 幹男



(注)監査役 笹島 富二雄、大久保 靖彦、伊藤 吉明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

常務執行役員 横山 千大	常務執行役員 古澤 一久	執行役員 佐藤 利	執行役員 福富 礼儀
執行役員 佐藤 徹	執行役員 早坂 徳四郎	執行役員 須藤 清彦	執行役員 多田 正一
執行役員 遠藤 純一	執行役員 田中 穎司	執行役員 米澤 肇	

プロフィール (平成24年3月31日現在)

名称	株式会社きらやか銀行
本店所在地	山形県山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001 (代表)
設立年月日	平成19年5月7日
資本金	177億円
預金	11,662億円 (譲渡性預金を除く)
貸出金	9,265億円
従業員数	932名
店舗数	117カ店 (県内99カ店、県外18カ店)

*ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は80カ店(県内63カ店、県外17カ店)、インターネット支店を除く。

沿革

平成19年 (5月7日)	□株式会社 殖産銀行と株式会社 山形しあわせ銀行が合併し、株式会社 きらやか銀行が誕生
平成20年 (6月16日)	□インターネット支店「ネットきらやかさくらんば支店」開設
平成20年 (10月1日)	□株式会社 きらやか銀行、きらやかホールディングスを吸収合併
平成21年 (3月18日)	□仙台支店泉出張所 新設
平成21年 (9月30日)	□金融機能強化法に基づき、200億円の公的資金導入
平成22年 (10月26日)	□株式会社 仙台銀行と経営統合の検討開始に関する基本合意書を締結
平成23年 (4月11日)	□株式会社 仙台銀行と経営統合を暫時延期
平成23年 (6月10日)	□株式会社 仙台銀行と震災復興に向けた連携に係る契約を締結
平成24年 (3月12日)	□山形県内4信用金庫とのATM業務提携サービスの開始
平成24年 (3月23日)	□日本政策投資銀行との「きらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社に係る資本及び業務提携に関する協定書」の締結
平成24年 (4月26日)	□株式会社仙台銀行と「経営統合合意書」の締結及び株式移転計画書作成

お問い合わせ先

株式会社 きらやか銀行 経営企画部
〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
☎023-631-0001 (代表)
<http://www.kirayaka.co.jp>

本ディスクロージャー誌は、銀行法第21条に基づいて作成した
ディスクロージャー資料です。
※2012年度3月期の詳細な財務データにつきましては、
「2012年ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。

ご相談・お問い合わせ・ご意見について

『お客様の声』受付ダイヤル

☎0120-379-305(受付時間/平日9:00~17:00)



きらやか銀行

基本理念

私たち「きらやかフィナンシャルグループ」は
地域に根ざす総合金融グループとして
“お客様ベスト”に挑戦し、共に煌やかな未来を
創造してまいります。

平成19年5月7日、きらやか銀行がスタートし
今年5周年を迎えました。
これもひとえに株主の皆さま・お取引先の皆さまの
ご支援・お引き立ての賜物と、深く感謝申し上げます。
これからも当行は地域に根ざす金融機関として
「共に生きる」をスローガンに本業支援・最適提案を行い
心の通うベストコンサルティングバンクの
実現に向け努力してまいります。